

No.	件名・内容	回答
1	<p>教育委員の定数を地教行法第3条前段のとおり4名とする</p> <p>(内容)</p> <p>政策提言内容：教育委員の定数を地教行法第3条前段のとおり4名とすること。</p> <p>理由については、下記(1)～(5)のとおりです。</p> <p>(1)教育委員の定数が現在の5人とされている理由</p> <p>私が調べたところ、教育委員の人数を地教行法第3条前段に定められている4人よりも1名増員する(法改正前は5人→6人、現在は法定4人→5人に増員)理由として「市民の多様な意向を教育行政に一層反映することができるようにするため」(2009年3月市議会における教育総務部長の説明)が挙げられています。</p> <p>(2)「全員一致・異議無し」の状況が20年以上続いている実態</p> <p>教育委員会(定例会・臨時会)の議案審議において、少なくとも20年の長きにわたって「全員一致・異議無し」の状況が続き、事務局が提案する議案に対しての反対意見は全くありません。</p> <p>私は、ほぼ毎回教育委員会の定例会を傍聴していますが、議案の審議や「協議」の際に、教育委員の方々が事務局提案に反対する意見を述べているのを聞いたことがありません。提案の文言の表現の仕方(国語的な意味で)などは指摘することがありますが、それは定例会前に連絡をすれば済む話であり、問題の本質を突いた質問や意見は皆無であると言えます。そこには上述の(1)で教育総務部長が説明している「市民の多様な意向」は微塵もありません。</p> <p>(3)平方幼稚園廃園さえ「全員一致・異議無し」という実態</p> <p>たとえば、最終的には閉園された平方幼稚園について、教育委員の一人の反対もなく閉園を提案したところ、市議会で2度にわたって否決されるという事実があります。</p> <p>少し考えれば分かることですが、(議会がそう</p>	<p>委員の定数につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、委員の数の弾力化が図れるとともに保護者からの選任が義務付けられたことを受け、市民の多様な意向を教育行政に一層反映することができるようにするため増員しております。</p> <p>ご提言いただきました教育委員の委員を4人に減員することについては、今後の教育委員会の組織を考えるなかで一つの提言として参考にさせていただきます。</p>

であるように) 多様な意向があるならば、事務局から提案された議案に対して賛否が分かれるのがむしろ普通です。

(4)他の自治体の例(県内40市と杉並区の例)

埼玉県内40市(さいたま市を含む)の内、教育委員が4人の市は33市(比率は82.5%)となっています。

また、川越市の教育委員の定数は4人ですが、現在は2名欠員となっています。

なお、東京都杉並区は、人口が上尾市の2.48倍の57万人ですが、教育委員は4人であり、内、女性の教育委員が3人(つまり、比率は75%)となっています。

(5)結論(政策提言)と改正手続きについて

上記(1)~(4)を踏まえれば、次のように結論付けられます。

今のような状況では、教育委員会の会議は全く「市民の多様な意見は反映されていない」と思われることから、教育委員をわざわざ5人置く必要などなく、地教行法の「第三条 教育委員会は、教育長及び四人の委員をもつて組織する。」のとおり、4人で十分です。

なお、教育委員の人数を変更することの手続きについては、教育総務課から、文献(木田宏『逐条解説 地方教育行政の組織及び運営に関する法律』)を引用して教示がされています。

すなわち、「委員の定数を減員する場合は、委員の任期途中では法定されている事由以外ではこれを罷免することができないことから、委員の任期満了に合わせて委員の定数を定めた条例を廃止すればよい」とのことです。

したがって、現在の教育委員の任期満了に合わせて、「上尾市教育委員会の委員の定数を定める条例」を改正すれば足りることになります。

【受付No.】 7-2004

【受付日】 令和7年5月30日

(担当) 教育総務課 (電話) 048-775-9469

<p>地教行法にしたがって「教育委員の年齢の偏り」を解消してください</p> <p>(内容)</p> <p>上尾市の現状を見ると、教育委員は男性3名・女性2名となっていますが、男性3名の教育委員の年齢層は明らかに偏りが見られます。</p> <p>2 この3名の教育委員の任命については、上尾市長が議会の合意を得るための議案としている経緯があることから、次回以降の教育委員の任命にあたり、年齢の偏りを無くすように人選をすすめることを政策提言いたします。</p> <p>【受付No.】 7-2006 【受付日】 令和7年6月20日</p>	<p>教育委員会委員の任命については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第4条第5項では、委員の任命に当たっては、委員の年齢、性別、職業等に著しい偏りが生じないように配慮しなければならないとされています。</p> <p>当市においても、教育委員会委員の任命に当たっては、地教行法の規定を踏まえ、年齢、性別、職業等のバランスを考慮しているところでございますが、今後も、教育委員会が合議体として機能し、教育委員会本来の役割を果たせられるよう、委員の任命に努めてまいりたいと存じます。</p> <p>(担当) 教育総務課 (電話) 048-775-9469</p>
<p>教職員の「働き方改革」について</p> <p>(内容)</p> <p>上尾市立小・中学校では、「教員の時間外在籍時間を月45時間以内、年間360時間以内にする」という働き方改革の目標を掲げていましたが、令和6年度末にこれを達成した学校はありませんでした。特にある中学校では、教職員25人中8人が月100時間以上残業しており、延べ24月分もの超過勤務が報告されるなど、異常な事態が浮き彫りとなっています。</p> <p>この事態を改善するため、「学校を閉める時刻」を原則夜7時、遅くとも8時とする政策を提言します。これは、目標の月45時間以内達成には、毎日の残業を最大2時間程度に抑える必要があるためです。</p> <p>市の教育委員会では、スクールサポートスタッフや支援員の雇用、授業数削減、夏休み期間の延長などの施策を試みっていますが、目標未達成という現実を受け入れ、今までとは異なる視点からの施策が必要です。</p> <p>一日でも早く、夜7時には学校（職員室）の明かりが消えているという状況が定着することを一市民として願っています。</p> <p>3</p>	<p>現在、市内小・中学校においては、最早入校時間を原則午前7時30分、最遅退校時間を原則午後7時30分としております。その一方で、時間外在籍等時間の長い状態が続いている教職員がいることは承知しておりますので、教育委員会といたしましても、その改善に向けてあらゆる取組を推進しているところでございます。</p> <p>今後も引き続き、教職員の時間外在籍等時間の縮減に向けて、いただいたご提言も含めて、どのような取組ができるのかを検討し、教職員の効果的な働き方改革を進めてまいります。</p>

	<p>【受付 No.】 7-2010</p> <p>【受付日】 令和7年6月27日</p>	<p>(担当) 学務課 (電話) 048-775-9604</p>
4	<p>上尾市のフランス語教育の推進について</p> <p>(内容)</p> <p>上尾市でフランス語教育を推進することで、国際的な重要性を持つフランス語を学び、文化交流や人材育成を促進でき、フランスのライフスタイルや問題解決力に学びながら日本の働き方改革にも寄与し、将来的には交流センターとしての役割が期待できます。</p> <p>市としての国際感覚を育む教育を通じて、若者の意識改革や世界で活躍できる人材育成を目指し、語学教育や多文化交流を推進することで、日本人の国際競争力を強化し、世界に通じる人材を輩出することが急務であると考えています。また、その結果を見出すには長い年月が必要ですが、着実に前進する過程で日本人の視野を広げ、上尾市から世界へつながる新たな道を開拓する可能性があります。</p> <p>【受付 No.】 7-2014</p> <p>【受付日】 令和7年7月5日</p>	<p>ご提案いただきました、フランス語教育の推進につきまして、貴重なご意見をいただきましたことに感謝申し上げます。本市では現在、外国語教育、特に英語教育に力を入れております。例えば、市内全小学校で文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、小学校1年生から英語活動の授業を実施しております。また、小学生がALTと英語を通して交流を楽しむイングリッシュパーティーの開催や、中学生が外国人講師と英語によるディベートやスピーチなどを通して生きた英語を楽しむ上尾英語クラブ「イングリッシュサロン」を開設するなど、様々な取組を実施しています。</p> <p>このような外国語教育を推進していくことは、フランスを含む多文化理解を深め、多様な他者と協働できる豊かな国際感覚を身に付ける基盤になると考えております。いただいたご意見も参考にさせていただきながら、今後も外国語教育の推進に取り組んでまいります。</p> <p>(担当) 指導課 (電話) 048-775-9672</p>
5	<p>イングリッシュサロンの参加者数の公表を</p> <p>(内容)</p> <p>上尾市の「政策企画提案制度」により採用され、現在部活動地域移行推進事業として実施している「イングリッシュサロン」の毎月の公民館別参加者数について、市のHP（教育委員会のページ）で公表することを提案します。</p> <p>[本政策提言の理由]</p> <p>(1) 採用された『政策企画提案 概要調書』によれば、ESは「市長公約に掲げる政策に合致するもの」であり、事業効果として、「参加生徒が生きた英語に触れ、実践的な英語力の向上を図ることができる」とされていること。</p> <p>(2) 前掲の『概要調書』では、ESは「市長の思いとしての英会話サークル・サロンの具現化」にあたりとされており、参加者数を含めたES事業の効果は、市民に向けて公表されて然るべ</p>	<p>上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」は、子供たちが「挑戦したいことに挑戦できる場を創ること」等を目的として推進しております部活動地域移行推進事業の地域クラブの1つとして活動しております。</p> <p>本市では、休日に子供たちが自己の興味関心に合った活動を選択できる新たな場として、様々な地域クラブが活動を始めております。その中で、例えばスポーツの地域クラブであるソフトテニスやサッカー、文化芸術の地域クラブである家庭科や合唱と同じように、英語に興味をもつ子供たちが選択できる特色ある地域クラブとして、上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」を設立しました。</p> <p>イングリッシュサロンではこれまで、ネイティブスピーカーである外国人講師の支援のもと、ディベートや日本紹介動画作成等をはじめとする様々な英語による活動を実施してきました。参加者からは、「英語が苦手だけれど活動が楽しい」や「学校の授業では実施しない活動があつて楽しい」等の感想があり、参加者のニーズ</p>

<p>きであること。</p> <p>(3) 例月のESの公民館別参加者数を公表することで、年度の中途から参加しようとする児童・生徒にとって「参加者が多いから（または少ないから）参加してみよう」といった動機付けの一つになると考えられること。</p> <p>(4) 現在、情報公開請求することにより各公民館別のES参加者が公開されており、参加者数は個人情報には当たらないことから、HPで公表しても何ら問題がないこと。</p> <p>【受付No.】 7-2019 【受付日】 令和7年7月22日</p>	<p>に合わせた、満足度の高い活動が実施できていると考えております。</p> <p>イングリッシュサロンの活動内容の公表、市民の方への紹介やPRといたしましては、昨年度から広報あげおでの市民の方への紹介を行ったり、報道機関に取り上げていただいたりしております。さらに、小中学校に通う保護者の方へは、他の地域クラブと同じように、活動を紹介するメールを配信したりもしております。</p> <p>毎月の公民館別参加者数の公表は考えておりませんが、今後も広報あげおや部活動地域移行推進事業のHP、保護者や児童生徒向けへの配信メール、報道機関へのプレスリリースなどを予定しており、活動内容を市民の方へお知らせしていく予定です。</p> <p>(担当) 指導課 (電話) 048-775-9672</p>
<p>6 上尾市教育委員会会議規則の改正を</p> <p>(内容)</p> <p>『上尾市教育委員会会議規則』第3条第1項を次のように改正することを施策提案します。</p> <p>(現行) 会議の招集は、教育長が開会の日前5日までに… (以下略)</p> <p>(改正案) 会議の招集は、教育長が開会の日前7日(または8日)までに… (以下略)</p> <p>(提案理由)</p> <p>ほぼ毎回上尾市教育委員会定例会を傍聴していますが、教育委員のみなさんに共通して「会議資料の読み込み」が不足しているように思います。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> *重要な案件であると思われる議案について、質問や意見が全く出ない。 *事前に調べれば(検索すれば)すぐにわかることを質問している(例:「カエル会議とは何ですか?」など) *計画案や方針案の中身ではなく、「国語的」なことを指摘している、など。 <p>これらは、教育委員のみなさんに向けて会議資料があと数日早く届いていたら解決することもあると思われれます。そこで、会議規則を改正することを政策提案します。</p>	<p>上尾市教育委員会会議規則第3条第1項の規定については、従来、通知時期を「あらかじめ」として具体的な日数が明記されていなかったことから、議案の作成等で定例会開会の準備に支障が生じない程度として「開会の日前5日まで」と規則の改正を行い、令和2年4月1日から施行された経緯がございます。</p> <p>いただきました提言内容につきましては、準備に係る事務的な負担などを考慮したうえで、今後慎重に検討させていただきます。</p>

	<p>なお、事務局作成の資料の「国語的な誤り」に教育委員のみなさんが気づいたとすれば、定例会前にメール等で事務局に連絡すればよいことなので、定例会の会議の中での指摘等は避けていただき、中身の論議に集中していただきたいと思います。</p> <p>【受付 No.】 7-2026 【受付日】 令和7年8月18日</p>	<p>(担当) 教育総務課 (電話) 048-775-9469</p>
7	<p>上尾市の歴史・郷土教育について</p> <p>(内容)</p> <p>上尾市の子育て支援施設や街並み、立地の良さ、自然環境、歴史と伝統に好意を持って転入してきました。</p> <p>上尾市には他市町村にも誇れる伝統や歴史、文化財があるにもかかわらず、市立の歴史民俗郷土資料館がなく、資料の数々が散在していることが残念です。</p> <p>地元の歴史教育の重要性を強く感じており、今後、子どもたちが成長する中でも誇れる郷土であることを願っています。</p> <p>中山道の宿場町であった上尾に、是非とも資料館の建設を希望します。</p> <p>【受付 No.】 7-2030 【受付日】 令和7年8月29日</p>	<p>上尾市には歴史資料等を常設で展示する施設がなく、期間を定めた文化財展を公共施設で実施しています。令和5年度には、上尾丸山公園内の上尾市自然学習館展示室の一部を改修し、上尾の歴史概観と国指定重要民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」を紹介する常設展示場をオープンしました。</p> <p>また、市内の無形民俗文化財の映像記録を制作し、ホームページで公開しております。</p> <p>歴史民俗資料館の建設は、上尾市公共施設等総合管理計画の考え方を踏まえながら、今後検討してまいりたいと考えております。</p> <p>(担当) 生涯学習課 (電話) 048-775-9496</p>
8	<p>上尾の文化行政について</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光マップに誤りが多い状態で発行されていることを市長はどう思いますか <p>間違った内容の書籍に基づいて、観光マップ(みる する しる)が発行されています。間違ったものを発行させないでほしいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違った資料へ推薦について <p>市の文化行政として、外部の団体が発行する書籍や印刷物への推薦のほか、各種イベントへの名義後援について、どのように対策し、適正なものかと判断していますか。正しいもののみ推薦(後援)を出してほしいです。</p>	<p>・観光マップについて</p> <p>今回提案いただきました「みる する しる あげおの観光」につきましては、上尾市観光協会が監修・発行している上尾市の観光情報を載せたガイド冊子となります。</p> <p>ご指摘の参考資料については、市に関係のある「民話」を掲載した箇所の参考・引用をしているものであると、観光協会を通して委託業者に確認しております。また、絵地図部分については、これまで作成してきたガイド冊子と合わせて、別途作成しているということです。</p> <p>引用している文献にかかる精査については、諸説あるものと認識しておりますが、本冊子のコンセプトとして間違っているという認識はございません。</p> <p>学術論文や一般的な書籍も含め歴史・文化に関する文</p>

<p>・間違った資料への対策は今後どうしますか。</p> <p>図書館に排架している資料のうち、『上尾のまちどんなとこ』のような間違った内容の郷土に関する書籍を読んだ市民に悪い影響が及ばないようにしてほしいです。</p> <p>【受付 No.】 7-2034 【受付日】 令和7年9月12日</p>	<p>献は、その性質上様々な考え方により認識が異なり、見え方も変わってくるものであると認識しており、本件はあくまで文献から引用した民話を用いて上尾の歴史の一端を紹介するという趣旨で掲載しているものであるという点を踏まえ、ご理解いただきたく存じます。</p> <p>(担当) 商工課 (電話) 048-777-4441</p> <p>・資料への推薦について</p> <p>後援、共催、協賛及び推薦の名義の使用の承認につきましては、「上尾市教育委員会後援等名義の使用承認及び上尾市教育委員会教育長賞の交付に関する事務取扱要綱」の規定に基づいて判断しております。</p> <p>(担当) 生涯学習課 (電話) 048-775-9496</p> <p>・図書館に排架している資料について</p> <p>上尾市図書館では、「上尾市図書館資料収集方針」に基づき、市民の知的関心、興味、好奇心を満たすことを目的として、幅広い分野にわたる資料の収集に努めております。</p> <p>図書館では資料の選書の際には、善悪といった主観的な判断によって資料を選ぶことはありませんが、法的・倫理的に問題のある資料については慎重な対応をしております。知的自由を尊重しつつ、公共の利益との調和を保つよう努めております。</p> <p>(担当) 図書館 (電話) 048-773-8521</p>
<p>9 教育委員の人選は慎重に</p> <p>(内容)</p> <p>令和7年9月議会で新しい教育委員の任命についての議案が同意されました。</p> <p>当該新教育委員は、令和7年4月から上平北小の学校運営協議会の委員として任命することが令和7年3月の教育委員会定例会で「全員一致・異議無し」で決定しています。</p> <p>つまり、現在(10月5日)は、教育委員と学校運営協議会委員を兼務していることとなります。教育委員と学校運営協議会委員を兼務することが認められると、次のような支障が生じます。</p> <p>すなわち、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第47条の5の第6項で、「学校運営協議</p>	<p>本提案に関するご指摘の「教育委員」と「学校運営協議会委員」の兼務に関する懸念につきまして、現行の法令には当該委員の兼務を一律に禁止する規定は明文されていことから、法的に問題ないものと認識しておりますが、市議会からの教育委員の任命同意の議決を受け、当該委員から学校運営協議会委員の辞任についての意思を、教育委員会が確認しているとのことをございます。</p> <p>引き続き、教育委員会委員の人選にあたっては、適切かつ慎重な検討、対応をまいります。</p>

<p>会は、対象学校の運営に関する事項について、教育委員会に対して意見を述べることができる」とされていることから、上平北小の学校運営協議会として教育委員会に意見を述べ、それについて「合議体としての教育委員会の一員としての教育委員」として審議をするということになるからです。</p> <p>これはどう考えてもおかしなことであり、新しく教育委員に任命された方は、速やかに教育委員または学校運営協議会委員の職のどちらかを辞する必要があると市民として指摘します。</p> <p>教育委員の人選にあたっては、従来、教育長が推薦した人物について市長が人事案として議会にかける、というのが通例になっています。</p> <p>だとすれば、今回、「教育長も」「本人も」「市教委事務局も」「市長部局も」「市長も」誰ひとり「教育委員が学校運営協議会委員を兼ねる」ことについて法的に問題であると気づけなかったこととなります。</p> <p>そのことも含め、教育委員の人選にあたっては慎重に対応するよう政策提言します（提言者としては、20年以上にわたって全員一致・異議無しを繰り返している教育委員会定例会・臨時会の状況があることから、教育委員の人数は法定のとおり4名でよいと考えています）。</p> <p>【受付 No.】 7-2036 【受付日】 令和7年10月5日</p>	<p>(担当) 教育総務課 (電話) 048-775-9469</p>
<p>10 通学する中学校の選択</p> <p>(内容)</p> <p>現在、子どもが小規模校(小学校)に通っています。クラス数が少なく、指定学区の中学校も同様に少数のクラスになることが予想されます。</p> <p>一方、隣接する小学校や中学校はクラス数が多い状況です。このため、学区の再編成の必要性を感じています。しかし、地域の反対や大人の事情により学区の変更が進まないようです。</p> <p>また、部活動では、在校生が少なくできなかつたり、逆に多すぎて活動場所が不足したりと、不公平な義務教育となる問題が懸念されます。</p>	<p>現在、通学区域については、居所の地番(住居表示)に基づき、就学する学校を指定しております。</p> <p>また、通学区域の変更を行う際には、市民の生活単位である自治会を不自然に分断や統合しないこと、地域の実情、通学路の安全性、大規模校と小規模校との流出入による児童生徒数の調整効果などを考慮して対応しております。</p> <p>記載いただいた地区において、2つの中学校から選択可能な状況については、大規模化の解消を目的として、もう一方の中学校を選択可能にしたものです。</p> <p>なお、令和5年3月改訂の「上尾市学校施設更新計画」においては、8学級以下の状態が5年以上継続する場合、統廃合を含めた学校の再編について検討を開始する</p>

	<p>小規模校・大規模校を自由に選べる仕組みを作っ てほしいと考えています。</p> <p>【受付 No.】 7-2039 【受付日】 令和7年10月28日</p>	<p>こととしております。</p> <p>また、お子様が現在活動されているスポーツ種目等が 進学予定の中学校にない、かつ、近隣他校にはある場合 などについては、指定校変更の配慮が可能な場合があり ますので、教育委員会学務課までご相談ください。</p> <p>(担当) 学務課 (電話) 048-775-9604</p>
11	<p>教育長は市民からの疑念を払拭してください</p> <p>(内容)</p> <p>教育長の勤務姿勢に対し、市民から疑念が生じて います。</p> <p>例えば、市民団体から教育長宛に出された要望に 基づく懇談会に、教育長は一度も出席していません。 担当課等に確認したところ、「教育長が市民と の懇談会に出席してはいけないという決まりは無 い」とのことでした。</p> <p>直近では、教育長は市民団体との懇談会開催日に 振替休暇を取得しており、市民団体との懇談会を避 けているように受け取れます。</p> <p>一方で、教育長は金婚式典・ダイヤモンド婚式典 に出席しています。つまり、教育問題を考える市民 との懇談会に出席せずに、教育行政とは直接関連性 が薄いと考えられる金婚式典に出席していること になります。</p> <p>こうした状況を受け、市民の間で教育長への不信 感が増大しております。一日も早く市民とともに上 尾の教育を考えていく姿勢に改めていただき、市民 からの疑念を払拭してください。</p> <p>【受付 No.】 7-2042 【受付日】 令和7年11月20日</p>	<p>ご指摘の教育長の勤務や懇談会への出席状況につい ては、教育委員会が所管する事務であり、その判断や運 営は教育委員会において適切に行われるものと認識し ております。</p> <p>市といたしましては、教育行政に対する市民の皆さま の信頼が確保されるよう、教育委員会と必要な情報共有 を図りつつ、引き続き連携に努めてまいります。</p> <p>(担当) 教育総務課 (電話) 048-775-9469</p>
12	<p>公文書の発出年月日は正確に</p> <p>(内容)</p> <p>上尾市の教育委員会について調べていく過程で、 「上尾市教育委員会教育長（または上尾・桶川・伊 奈教育委員会連絡協議会会長）西倉剛」名で発出さ れている複数の公文書の存在が明らかになりました (例:「上尾・桶川・伊奈教育委員会連絡協議会意</p>	<p>ご提言いただいた件につきましては、公文書管理に関 する貴重な参考意見として、教育委員会と情報共有させ ていただきます。</p> <p>引き続き教育委員会と連携し、適正な公文書管理を徹 底してまいります。</p>

	<p>見交換会について」などの公文書)。</p> <p>例示した公文書の発出年月日は「令和7年1月吉日」となっています(他の文書も同様に「〇年〇月吉日」と記載されています)。</p> <p>これらの公文書の発出年月日に「吉日」と記載することは、次の点で疑問が生じます。</p> <p>ア. 公文書の発出日を曖昧にすることは記録性や信頼性に欠けるため、「吉日」などと記載すべきではないこと。</p> <p>イ. 「吉日」は儀礼的・私的な文書にふさわしい表現であり、とりわけ教育委員会が公文書で使うべき語句ではないこと。</p> <p>言うまでもなく、教育長は上尾市の学校教育についても責任を負う立場です。その教育長がこのような公文書を作成していることには、市民として「上尾の教育の責任者として相応しいのか?」という疑問が生じています。</p> <p>このような事実関係を踏まえ、市長は「公文書の発出年月日は正確に日付を明示すること」と教育長に伝えるよう、政策提言いたします。</p> <p>【受付 No.】 7-2046</p> <p>【受付日】 令和7年12月3日</p>	<p>(担当)教育総務課 (電話) 048-775-9469</p>
13	<p>子ども向け屋内施設の充実化希望</p> <p>(内容)</p> <p>冬は寒すぎ、夏は暑すぎるため、子どもを外で遊ばせるのが難しい状況です。そのため、屋内で遊べる施設をもっと増やしていただきたいです。</p> <p>児童館もありますが、施設がかなり古いため、できればリニューアルを希望します。</p> <p>理想としては、久喜市の屋内型子どもの遊び場(あそびのにわ)のような施設が挙げられます。こちらは施設が綺麗で屋内遊具が充実しています。同様の施設ができると嬉しいです。</p> <p>利用に多少費用がかかっても構いませんので、ぜひご検討いただけますと幸いです。</p>	<p>こども向け屋内型施設は、季節や天候に左右されることなく、こどもが安心して遊ぶことができるため、本市では他市に先がけ、平成12年に児童館アッピーランド、平成18年に児童館こどもの城をそれぞれ整備し、多くの皆様にご利用いただいています。それぞれ開館から25年、19年が経過し、設備や外観については老朽化が進んでいます。</p> <p>市の施設については、上尾市個別施設管理基本計画に基づき計画的な更新や維持保全を実施しており、現時点では児童館のリニューアル工事の予定はありませんが、リニューアル工事を実施する際には他のこども向け屋内型施設を参考とさせていただきたいと考えています。</p>

	<p>【受付 No.】 7-2051 【受付日】 令和8年2月9日</p>	<p>(担当) 青少年課 (電話) 048-776-2488</p>
14	<p>学童増設と対応完了までの民間学童補助ご検討の お願い</p> <p>(内容)</p> <p>近年、上尾市は子育て・共働き世帯が増加し、市の活性化が期待され、明るい話題が増えていると感じています。</p> <p>数年前に都内から転入し、保育園不足が懸念されましたが、保育園の新設など早急に対応いただけたことで、キャリアを中断することなく仕事を継続することができました。</p> <p>この度、来年度小学校へ入学する子どもにつきまして、慌ただしい状況が重なり、学童保育への申込期限を過ぎてしまいました。民間学童を利用しながら、5月からの公立学童利用を検討しておりましたが、例年に増して希望者が多く、5月募集は協議中と伺いました。</p> <p>地区の小中学校では、新一年生が増加しています。また、周囲地域もここ数年で戸建て住宅が急増しています。おそらく、子育て・共働き世帯が入居され、学童不足が当面継続するものと思われます。</p> <p>ぜひ、早急に公立学童の増設計画と、それまでの間に利用可能な民間学童利用者への補助をご検討いただけないでしょうか。</p> <p>【受付 No.】 7-2053 【受付日】 令和8年2月10日</p>	<p>現在、上尾市では令和7年3月に策定した上尾市学童保育所整備計画に基づく施設整備や、令和8年度より開始予定の上尾市民間放課後児童クラブ事業費補助制度による民間学童保育所の協力により、学童保育面積と放課後児童支援員の確保を図っています。</p> <p>今後も、増加する学童保育所需要に対応するため、様々な方策を検討していく必要があると考えており、民間学童保育所利用者に対する補助制度についても支援策の一つとして認識しています。</p> <p>(担当) 青少年課 (電話) 048-776-2488</p>
15	<p>適応指導教室の名称について</p> <p>(内容)</p> <p>複数の自治体が、学校適応指導教室の名称を教育支援センターに変更しています。適応を指導するというのは、不登校児童生徒の学校復帰を前提としない文部科学省の方針とも合致しない名称になっていると考えます。</p> <p>また、不登校児童生徒、保護者からすると、適応を指導されるような場所には行きづらいのではないのでしょうか。</p>	<p>ご提案いただきました、学校適応指導教室の名称の変更につきまして、貴重なご意見をいただきましたことに感謝申し上げます。現在、本市では学校適応指導教室「かもめ・けやき教室」として、不登校児童生徒に対する支援を行っているところでございます。</p> <p>令和元年10月25日付け文科省通知「不登校児童生徒への支援の在り方について」において、不登校児童生徒への支援は、学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があることと示されており、本市といたしましても不登校児童生徒の社</p>

<p>学校適応指導教室の名称を、教育支援センターに変更するのはいかがでしょうか。ご検討いただけますと幸いです。</p> <p>【受付 No.】 7-2055 【受付日】 令和8年3月6日</p>	<p>会的自立に向けた支援に取り組んでいるところでございます。このことから、いただいたご意見も参考にし、学校適応指導教室の名称の見直しについて、検討して参ります。</p> <p>(担当) 教育センター (電話) 048-776-7600</p>
<p>16 生徒会活動の財源について</p> <p>(内容)</p> <p>市内の中学校で生徒会本部役員として活動しており、その中で感じた課題について、この度提言させていただきます。</p> <p>私の学校の強みは、全校生徒が学校をよりよくするために活動する「生徒会」であり、生徒の声1つ1つが反映され、学校の未来を創っていくところだと考えています。生徒会本部は、その声を実現するためにサポートしていく存在ですが、財源などの問題から生徒の自由な意見を実行することができていません。</p> <p>そんな折、「滋賀県彦根市が生徒会の活動を補助した」という記事を見ました。彦根市では市内7中学校の生徒会長の公約活動に対し、10万円を補助する制度を導入し、その結果、各校でマスコットキャラクターの着ぐるみ制作などができたそうです。</p> <p>このような政策を上尾市でも導入していただけないでしょうか。もし実施されたら、私は生徒の声を実現し、地域とのつながりを強化する活動に取り組みたいと思います。</p> <p>市では、「英語イングリッシュサロン」や「AGEO地域クラブ」など、子供の教育に力を入れていると思います。私も「英語イングリッシュサロン」や「AGEO地域クラブ」の家庭科に参加し、どちらも楽しく、自分の力にもなっていてとても良い政策だと思っています。</p> <p>学校のより良い未来を創っていくために力を貸していただけないでしょうか。</p> <p>【受付 No.】 7-2057 【受付日】 令和8年3月9日</p>	<p>今回いただいたご提言は、生徒の皆さんが主体的に学校づくりに関わる大切な視点を含んでいるものであり、大変興味深い内容であると受け止めております。</p> <p>ご提案の政策をすぐに制度として実現することは難しい状況ですが、現在、上尾市の学校では、コミュニティスクールを核とした学校と地域の連携、協働活動を推進しており、そこに生徒会や児童会が積極的に関わって学校づくりを進めている例もあります。このような地域連携の取組に生徒会や生徒が参加したりできないか、ぜひ学校の先生に相談してみてください。</p> <p>教育委員会といたしましては、いただいたご提言も参考にさせていただきながら、今後の学校教育や市の施策の検討に生かしてまいります。</p> <p>(担当) 指導課 (電話) 048-775-9672</p>